

【令和5年度事業報告】

第1 事業報告

1. 事業概況報告

令和5年度は、「福島県農協共済福祉事業団3か年事業計画」の中間年度として、「持続可能な『福島の農業』と『JA』の未来づくり」をめざし、満足度の高い健康増進活動等の提供と健診効果をより高める啓発活動の充実を図り、農村・地域住民の健康・生活福祉の向上に寄与する事業の展開と、一般財団法人として定款、法令に沿った円滑な事業運営に努めてきたところである。

特に主たる事業である健康増進活動については、4月から6月については原則「簡易日帰りコース」で実施し、6月は「宿泊・日帰りコース」への移行期間として一部JAで先行実施して、7月からは「宿泊・日帰りコース」を復活させて取り組み、合計で84回実施した。

健康増進活動の主な参加者が高齢者であることから引き続き感染防止対策を実施して参加者の「安心・安全」を確保し、JAグループの各団体と連携を図りながら健康増進活動に取組み、農村・地域社会への公益福祉に資するよう努めてまいりたい。

(1) 健康増進活動について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更に伴い、令和5年度の健康増進活動は、「簡易日帰りコース」から「宿泊・日帰りコース」への移行期間として「簡易日帰りコース」「日帰りコース」「宿泊コース」の3コースで実施した。実施回数は、「簡易日帰りコース」が10回、「宿泊・日帰りコース」が74回、合計84回（前年度81回）となり、参加人数2,146名（前年度1,996名）となった。年間計画分のうち、中止となったのは7回（前年度18回）であった。

1回あたりの平均受診者数については、25.5名（前年度24.6名）であった。

「健康増進活動JA担当者・管理者会議」は令和5年5月11日に「ホテル華の湯」で開催し、県下JAの各担当者・管理者を参集して、令和5年度の取組事項と留意点について説明し、健康増進活動実施に向けた理解および意思統一を図った。

(2) 高齢者・小域福祉活動について

「年金友の会」総会・研修会における講師派遣の依頼を受けて、「健康講話」を2回実施した。

高齢者のフレイル予防対策として作成した「健康体操DVD」を活用した「健康教室」を6回実施した。健康教室では、参加者全員で健康体操を行い、併せて毛細血管観察、足指筋力測定等を実施した。

<健康講話>

令和5年 4月25日 JA東西しらかわ年金友の会総会

令和5年11月17日 JAふくしま未来年金友の会大波支部研修会

<健康教室>

令和5年 5月17日 JAふくしま未来 未来館よりそいサロン「健康教室」
(於：未来館こさか)

令和5年 5月18日 JAふくしま未来 未来館よりそいサロン「健康教室」
(於：未来館しらね)

令和5年 5月19日 JAふくしま未来 未来館よりそいサロン「健康教室」
(於：未来館おて)

令和5年 7月 8日 JA福島さくら「女性大学いわき校」第1回講座

令和5年12月12日 JA会津よつばいいで地区「塩川女性部体操教室」

令和6年 2月 8日 JA会津よつばいいで地区「喜多方女性部体操教室」

(3) 高齢者対策支援センターとの連携活動について

「JAグループ福島高齢者対策支援センター」の構成団体として、令和5年4月24日に「JAグループ福島介護福祉事業連絡協議会」へ参画協力を行った。

(4) 交通安全対策について

健康増進活動の参加者に対し、交通安全資材の有効活用による交通安全の啓発を図った。

(5) 広報活動について

JA担当者や各関係機関との情報の共有化を図るとともに、系統組織内での健康増進活動への理解を深めるべく、JA・関係機関向けに情報誌「inform 福祉事業団」を2回発行した。(夏号：令和5年8月、冬号：令和6年1月)

(6) 一般財団法人移行に伴う適正な組織運営について

平成24年4月1日の新法人設立後12年目となり、これまでと同様に、定款、法令等に沿った円滑な事業運営に努め、理事会を4回、評議員会を2回開催し、上程した全議案について承認を得た。